

2024.04.05



広島大学

HIROSHIMA UNIVERSITY

SYL

Support Your Local

地域の元気応援プロジェクト【2023年度】成果報告

地域と学生の協働による中央公園（堺川沿い8ブロック）の
賑わいづくりに向けた実証実験
一歩いて楽しいまちの実現に向けて一

広島大学 先進理工系科学研究科
都市・建築計画学研究室

M2：山本友樹・前田丞

M1：重松大輝・平井慎二

B4：秋山結衣・森本匠

（教員：田中貴宏）

1. 昨年度の活動

2. 社会実験

2.1 社会実験内容

2.2 当日の風景

2.3 社会実験に対する評価

3. 高校生ワークショップ

3.1 WSの概要

3.2 WSより抽出できた意見・アイデア

3.3 高校生の感想

4. まとめと今後の展望



1. 昨年度の活動

2. 社会実験

2.1 社会実験内容

2.2 当日の風景

2.3 社会実験に対する評価

3. 高校生ワークショップ

3.1 WSの概要

3.2 WSより抽出できた意見・アイデア

3.3 高校生の感想

4. まとめと今後の展望

1. 昨年度の活動

4

■2022年度「地域の元気応援プロジェクト」

SYL 特定非営利法人SYL
Support Your Local

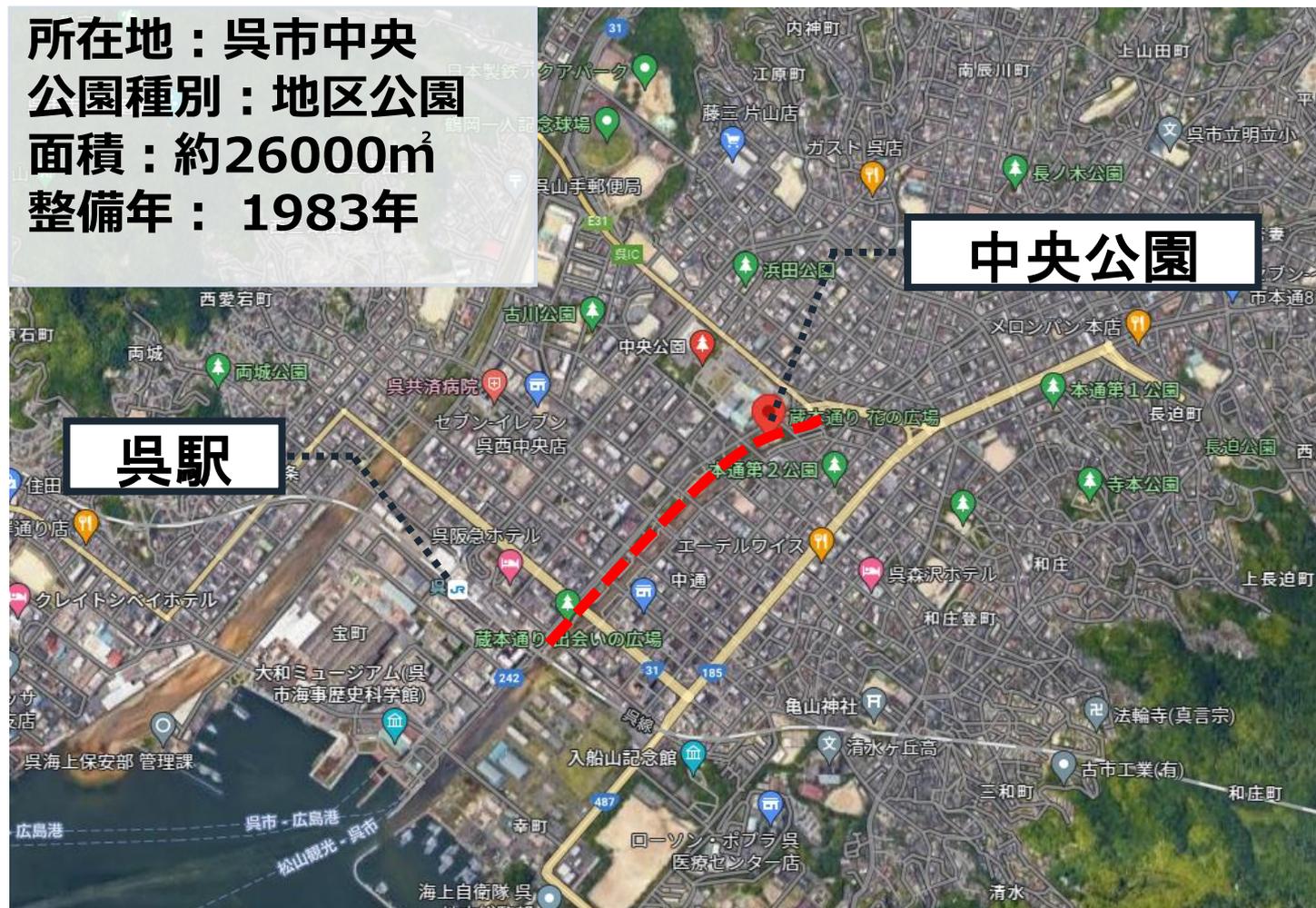
呉市に世界に誇れる
かっちょいい公園を作ろう！



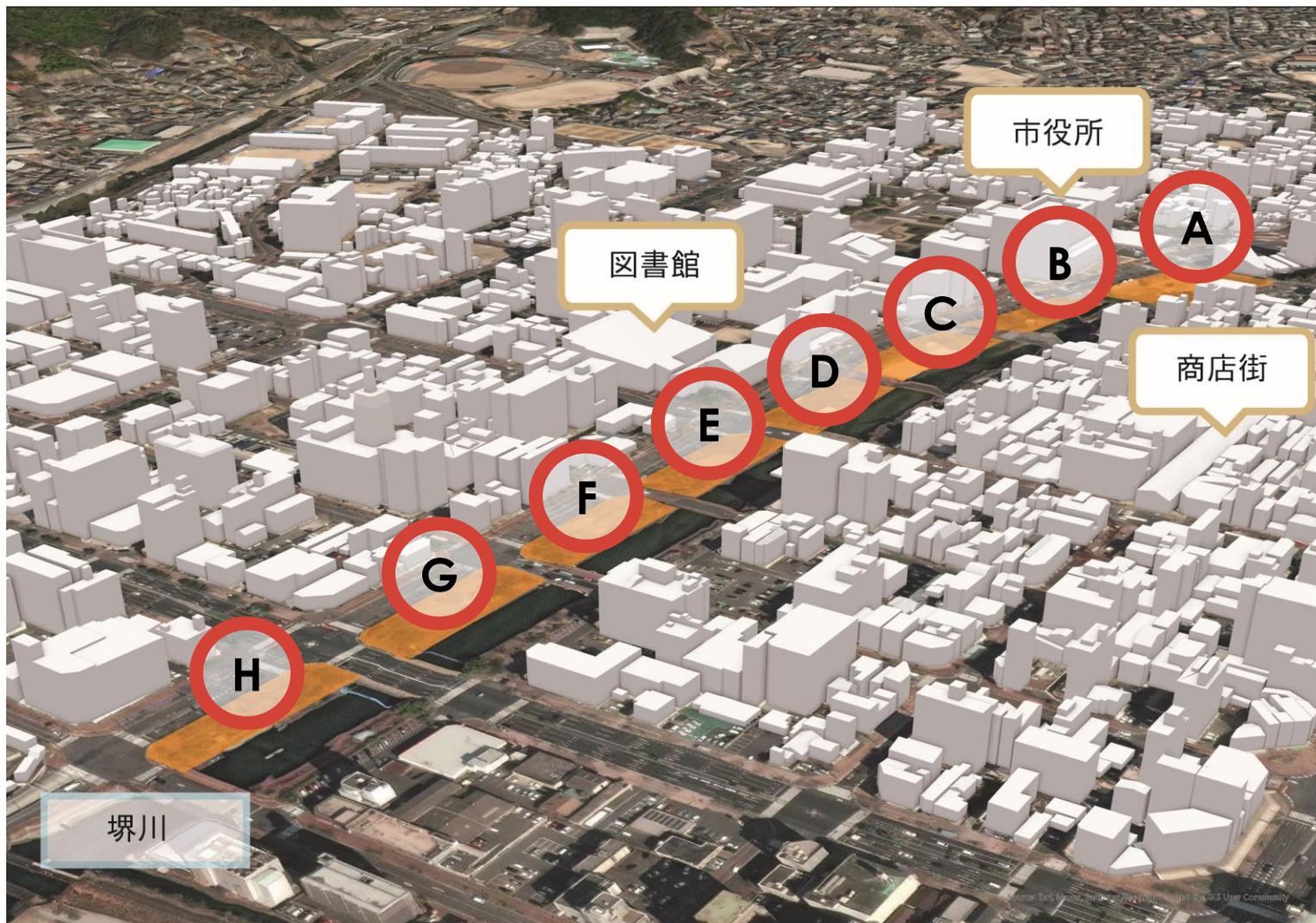
1. 昨年度の活動

■対象地

所在地：呉市中央
公園種別：地区公園
面積：約26000m²
整備年：1983年



1. 昨年度の活動

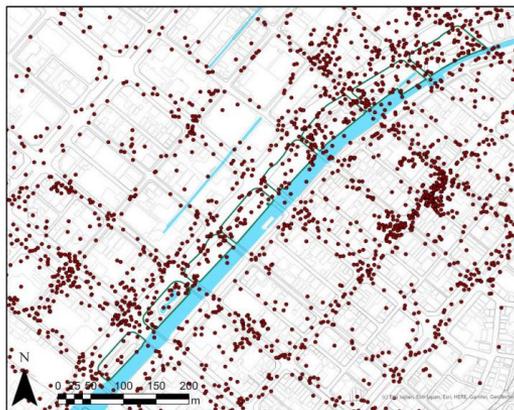


1. 昨年度の活動

現地踏査



人流解析



社会実験



アクティビティ調査



アンケート調査



ビジョン策定



1. 昨年度の活動

8

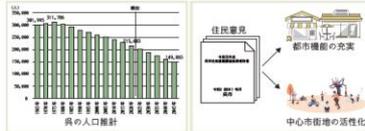


呉百人会議



01. 呉市の現状

呉市の人口は1975年をピークに、減少傾向にある。その中でも特に若年層の人口流出が顕著であるため、今後の都市経営に課題を抱える。このような若年層は都市機能の充実や中心市街地の活性化を求めている。したがって、中心地における都市活動の質向上が重要であると言える。



02. 対象地概要

- 1) 基本情報
- 所在地: 呉市中央区
 - 公園種別: 地区公園
 - 面積: 約2,600㎡
 - 整備年: 1983年
 - 河川沿いの2車線を公園として整備



- 2) 周辺環境
- 公園8つのブロックに沿うように堺川が流れており、特殊なつくりをしている。また、周辺には市役所や図書館、商店街が立地しており、多様な人々の利用が想定出来るエリアであると言える。



- 3) 平常時とイベント時
- 公園の日常的な状況を把握するために、平日の日に現地調査を実施した。結果として多くのブロックで利用は見られず、日常の利用は少ないことが予想される。しかし、イベント時には多くの人を集めるため、公園自体のポテンシャルはあると考えられる。



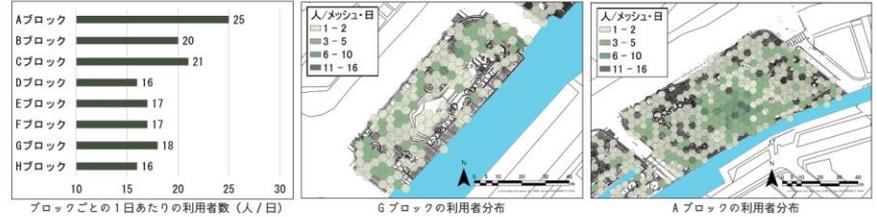
03. 各ブロックの特徴

<p>Aブロック (花の広場)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央にある遊具が特徴的エリア 未就学児から小学生とその保護者が多い Gブロックの中でも最も運営が多い 	<p>Bブロック (こもれび広場)</p> <ul style="list-style-type: none"> 小さな東屋と川沿いの通路が特徴 大きな樹木が多く、薄暗い印象を受ける 歩行しやすいかえで橋と接続している 	<p>Cブロック (こもれび広場)</p> <ul style="list-style-type: none"> 樹木が少なく最も開けたエリア 商店街との接続性が高い 木陰下の円形ベンチの利用が多い 	<p>Dブロック (芸術広場)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大きな東屋が特徴 図書館の目の前に立地している 樹高が高く、鬱鬱とした印象を持つ 	<p>Eブロック (集いの広場)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央にあるステージが特徴的 ステージはかなり年季が入っており、イベント時以外はほとんど利用されない 	<p>Fブロック (集いの広場)</p> <ul style="list-style-type: none"> 草花が多く面積を占める 中央に高い樹木がないため、他の樹木のあるブロックに比べて開けた印象を与える 	<p>Gブロック (水の広場)</p> <ul style="list-style-type: none"> 川を表す水辺が特徴的な空間 清潔な場所が特に少ない 基本的には通行として利用されている 	<p>Hブロック (出合いの広場)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央に時計台が配置されている 樹木が点在している 公園を囲うようにベンチが配置
---	---	---	---	--	--	--	--

04. 人流データ解析

概要
スマートフォンのGPS機能をもとに人の流れをポイントで表したAgooop社のポイント型人流データを用いて、公園内のどのエリアに利用者が滞在、通行者が多いのかをブロックごとにメッシュマップを用いて分析した。2021年10月のデータを用いて、1か月間の傾向を把握した。

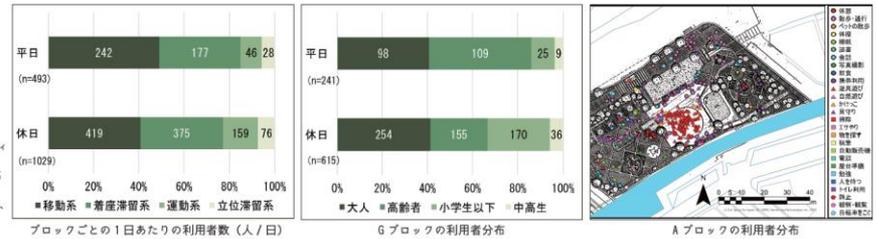
結果
各ブロックの1日あたりの利用者数は最も多いAブロックの人口空間分布を見ると、中央に利用者が多く、遊具の利用が多いと考えられる。
その他のブロックは、主に歩道側に多くの人が集まっており、通過目的の利用者が多いと考えられる。



05. アクティビティ調査

概要
中央公園の8つのブロックすべてにおいて、2022年10月13日(木)、2022年10月15日(土)にアクティビティ調査を実施した。スマートフォンのカメラを用いて公園内を歩行しながら撮影し、各ブロックの様子を記録した。記録したデータをもとに、観察されたアクティビティや利用者属性をまとめた。

結果
公園全体のアクティビティ割合を見ると、移動系のアクティビティが多い
利用者の年齢層を見ると大人・高齢者の割合が高く、中学生をはじめとした学生が少ない
Aブロックは運動系アクティビティが多く見られるものの、その他のブロックは移動系が多く見られる傾向にある



06. アンケート調査

概要
呉市全域の住民(700人)を対象に、Webアンケートを行った。中央公園の利用や建設の中央公園に関する項目に加え、中央公園にあつたら良いもの等も把握した。

結果
利用目的を見ると、散歩が多く、次に行事やイベント参加が多いことが、普段の中央公園での長時間の滞在はあまりされていないと考えられる。
最もよく利用するブロックを見ると、遊具のあるAブロックが特に高く、次に、E、Bブロックの順に高い。
中央公園にあつたら良いものに関しては、飲食サービス、トイレ、スポーツ、テーブル・イスの順に希望が高い。



07. 再整備に向けた社会実験

概要

2022年10月17日(月)～10月23日(日)の1週間、C・Dブロックで社会実験を行った。Cブロックでは屋台式のコーヒースタンドでコーヒーを販売し、それに加えてテーブル・イスを4セット設置した。Dブロックではテーブル・イスを3セット設置した。期間中、C・Dブロックに動画カメラを設置して公園内を撮影し、平常時と利用実態を比較した。(動画カメラは社会実験期間の1週間前(2022年10月10日～10月15日)から設置)



結果

- 平常時と社会実験時の1日当たりの滞在者数を見ると、どちらのブロックでも社会実験時の方が多い。
- どちらのブロックにおいても、イスでコーヒーを飲む、テーブルで作業をする等、社会実験実施エリアの滞在者が増加した。
- テーブル・イスを使って絵を描く等の、平常時になかった新たなアクティビティも見られた。



森本未菜美：「地方都市における中央公園の利用実態と利用動向に関する研究」- 員中央公園を対象とした再整備に向けて - 2023

08. 全体計画

①全体コンセプト

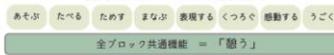
調査・研究の結果から、日常的な公園利用の促進が生活の質向上に繋がると考えられる。

全体コンセプト
全世代が日常的に楽しめる公園

②ブロックの特徴付け

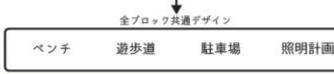
「使い方」をデザインする観点からアクティビティを注視し、動詞を用いてブロックの機能を整理する。

動詞によるブロックの特徴付け



③全ブロック共通のデザイン

ブロックの特徴付けを行いつつも、同時に公園全体としての一体感を演出するためのデザイン例の提案を行う。



川向こうの駐車場を含めた一体的利活用

■課題：商店街と公園の隔絶

→川向こうの駐車場ををハブに公園エリアと商店街エリアを繋ぐ

現状は公園の川向こうは駐車場として活用されているため公園と商店街エリアを隔絶している事実の一つと言える。



駐車場だった敷地の一部を賑わいを生む空間にすることで、公園の賑わいが商店街へと溢み出すことを期待する。



照明計画

■課題：夜間の雰囲気や暗さ、安全性

→一体感を持たせる全ブロック共通の照明計画と照明デザイン

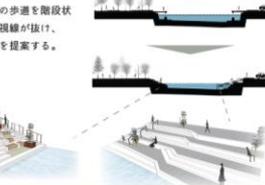


遊歩道のデザイン

■課題：河川空間に沿う8ブロックのポテンシャルを活用できていない

→ブロック間を繋ぐ水の遊歩道を整備

河川空間と距離のある現状の歩道を階段状に川に接続することでより接続がしやすくなり、周辺環境を活かすデザインを提案する。



ベンチのデザイン

■課題：全ブロックに一体感を持った「遊う」機能の不足

→全ブロック共通で使用できるベンチデザイン

アクティビティを制限しないように極力シンプルな形とし、素材使いが異なるベンチを提案する。公園の空間の雰囲気のアクセントになる要素として使い分ける。



09. 短期的なBブロックの活用計画



■設置物

- ・屋外キッチンなどの飲食機能
- ・テーブル、イスなどの家具
- ・無料Wi-Fi
- ・仮設コンテナ
- ・パークレット

設置物をベースに日常的な利活用を把握し、その他社会実験やイベント等も開催することでその効果を図る。また、無料Wi-Fiにて滞在人口のデータを蓄積することで、各種取り組みの効果や変化を定量的に把握することで、将来ビジョンの実現に繋げる。



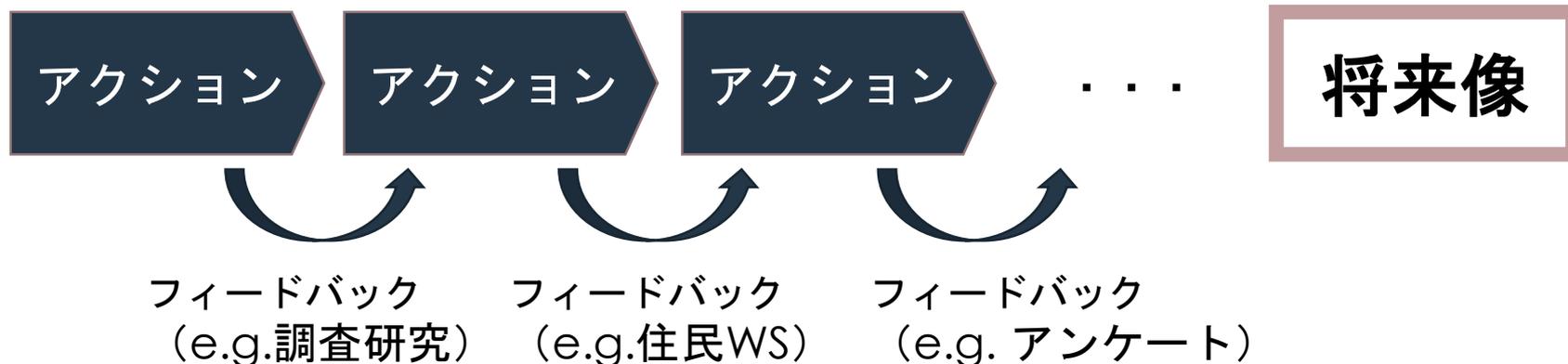
公園だけでなく、かえて橋・川向こうの駐車場も含めて一体的に活用することで、将来にむけた方針に役立てる

1. 昨年度の活動

11

- 小さな取り組みを継続的に重ねる手法

タクティカルアーバニズム



地域と共に小さなアクションを重ね将来像の実現を目指す

昨年度は様々な調査・分析を行い...

将来像とその実現に向けた進め方の在り方を提示

1. 昨年度の活動

12

■現地踏査

→ 日常的な利用は多くみられない

■調査・分析の結果

人流分析→ Aブロック以外は通過目的

アクティビティ調査→ 中高生の利用が少ない

アンケート調査→ 新たな機能が求められる (飲食・Wi-Fi...)

考察①

モノの存在が公園の利活用促進に繋がる

考察②

中高生の公園利用に関して特に課題がある

1. 昨年度の活動

13

■前年度の成果を踏まえて...

考察①

モノの存在が公園の利活用促進に繋がる

今年度の活動①：Aブロックを対象とした社会実験の実施

考察②

中高生の公園利用に関して特に課題がある

今年度の活動②：高校生を対象としたワークショップの実施

1. 昨年度の活動

2. 社会実験

2.1 社会実験内容

2.2 当日の風景

2.3 社会実験に対する評価

3. 高校生ワークショップ

3.1 WSの概要

3.2 WSより抽出できた意見・アイデア

3.3 高校生の感想

4. まとめと今後の展望

2.1 社会実験の内容

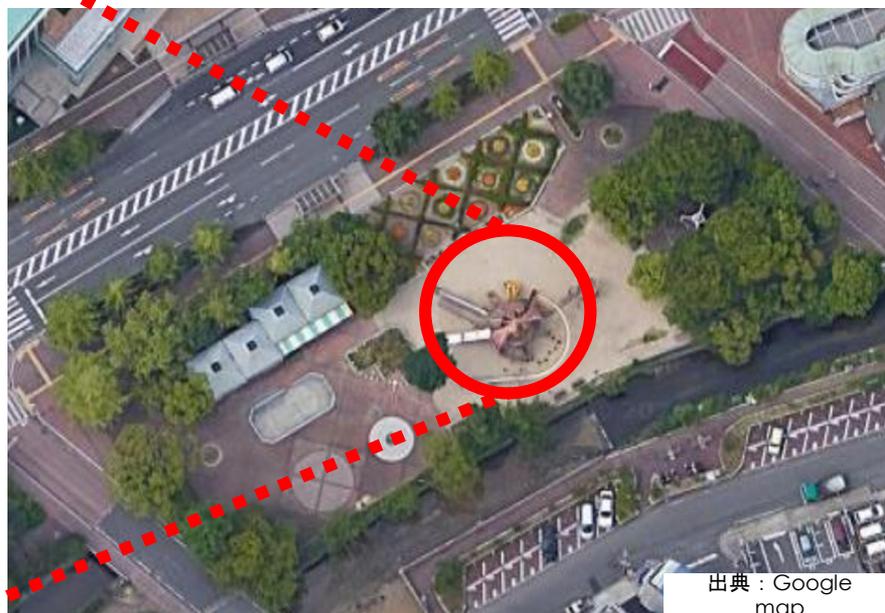
15

■実施日：10月29日（日）、10月30日（月）

■対象地：Aブロック

—Aブロックの特徴—

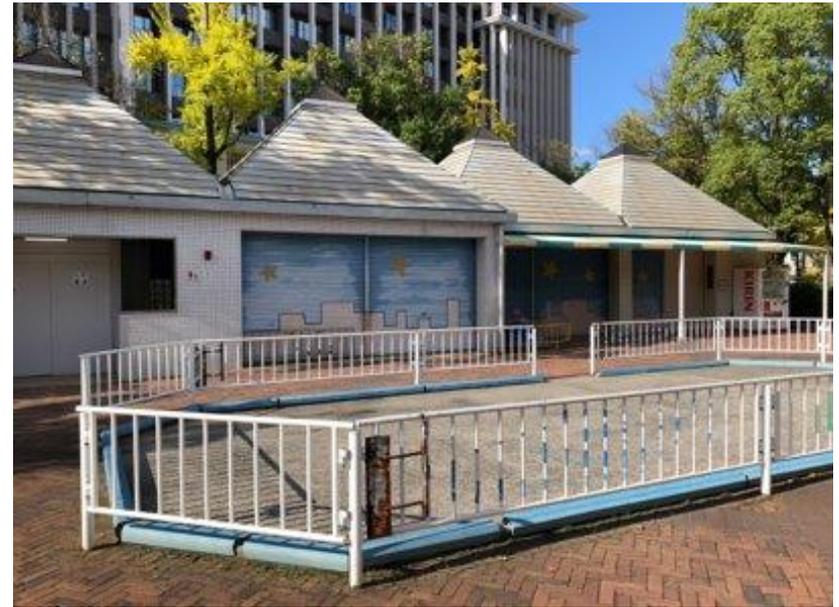
- ・最も北側に位置し、市役所に近い
- ・中央に遊具があり利用者数が多い
- ・ファミリー層の利用が見込める



出典：Google
map



2.1 社会実験の内容



平常時のAブロックの様子

- シャッターが閉まっております、暗い印象
- ベンチは設置されているものの利用は少ない
- 人々の滞留は遊具の空間のみ

2.1 社会実験の内容

■社会実験での取り組み

① テーブル・イス、デッキの設置

→既存のベンチに代わって、滞留を促進するモノの設置による利用変化を把握する

② コーヒーの提供・お弁当販売

→Aブロックでの商業機能のニーズを把握する

③ 遊び道具の貸し出し

→ブロックの特性に合ったモノによる利用の変化を把握する

2.1 社会実験の内容

18

① テーブル・イス、デッキの設置

テーブル・イスセット

→既製品を使用



デッキ

→学生で設計・作成



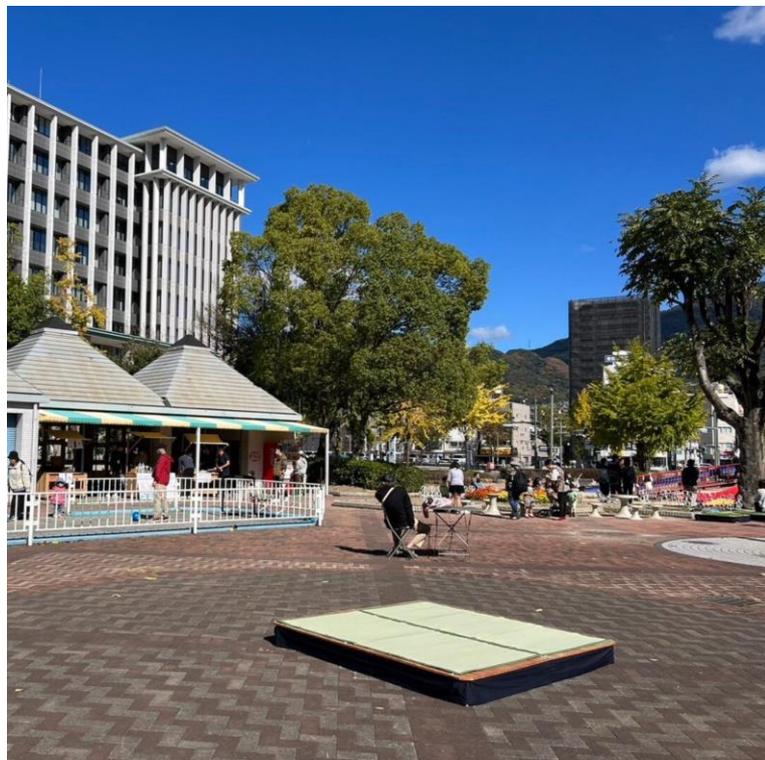
2.1 社会実験の内容

20



2.1 社会実験の内容

21



デッキ大 1820×1820



デッキ小 910×910

2.1 社会実験の内容

22

② コーヒーの提供・お弁当販売



ハンドドリップコーヒーの提供



お弁当販売

2.1 社会実験の内容

③遊び道具の貸し出し

広島大学 × SYL
Support Your Local

公園利活用社会実験 実施中
10/29(日)・30(月) 10:00 - 18:00

広島大学 都市・建築計画学研究室とNPO法人SYLは、手前から広島大学の「地域の元気応援プロジェクト」の一環として、呉市中心市街地エリアについての研究を進めています。本年度は公園の豊かな使いこなしに向けて、市役所前のAブロックを中心に社会実験を行っています。

【実験内容】

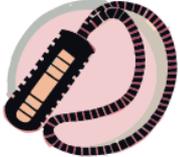
- ①デッキ・テーブルイスの設置 
- ②コーヒーの提供・お弁当販売 
- ③遊び道具の無料貸し出し

- 貸し出しリスト -
- ・なわとび
- ・大なわとび
- ・シャボン玉セット
- ・ミニサッカーセット
- ・レジャーシート

※社会実験中は利用者実態を把握するために定点撮影調査を行っています。得られた情報は研究室にて厳重に保管し、活用の際は個人が特定されない形でデータ処理を行います。

問い合わせ先：広島大学 都市・建築計画学研究室 (E-mail: m22235@hiroshima-u.ac.jp)

- 貸し出しリスト -

- ・なわとび 
- ・大なわとび 
- ・シャボン玉セット 
- ・ミニサッカーセット 
- ・レジャーシート 

小さな子ども連れファミリー層に向けた道具を選定

2.2 当日の風景

24



デッキ大は小さな子どもから大人まで多様な主体の利用が確認できた



2.2 当日の風景

25



2.2 当日の風景

26

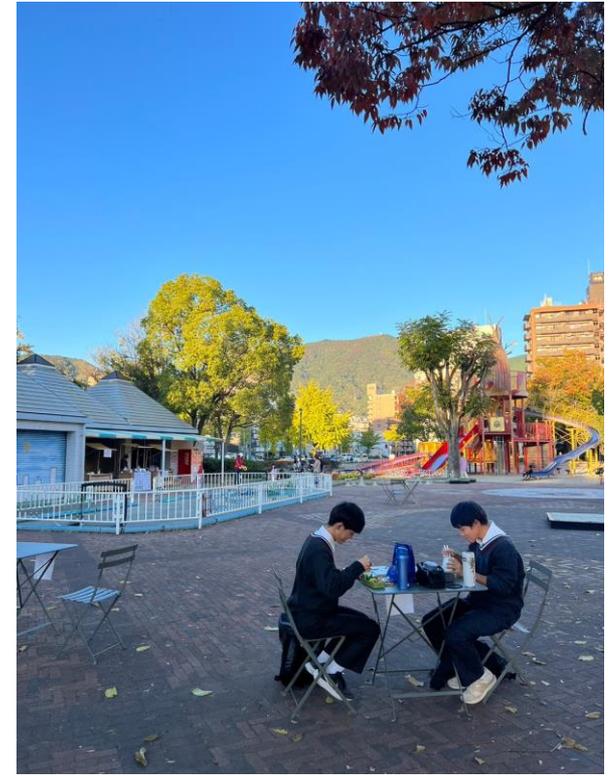


デッキ小では目が離せないような子どもとの利用が多くみられた



2.2 当日の風景

27



テーブルイスでは食事や会話、休憩といった利用がみられた
提供したコーヒーをテーブル・イスで飲む人も多くみられた

2.2 当日の風景

28



木陰のテーブルではPC作業をする人もみられた

2.2 当日の風景

29



遊び道具の貸し出しは比較的小さな子どもの利用が多くみられた

2.2 当日の風景

30



既存の囲いを利活用したミニサッカーは小さな子どもに特に好評

2.3 社会実験に関する評価

■社会実験時の利用者アンケートを実施

中央公園（柳川沿い）社会実験に関するアンケートのお願い

現在、広島大学（都市・建築計画学研究室）とNPO法人SYLでは、中央公園（柳川沿い8ブロック）を、より魅力的な公園とするために、新たな使い方の提案に向けた調査・研究を進めています。その一環として、10月29日（日）、30日（月）の間、中央公園で社会実験を行っています（デッキ、テーブル、イスの設置、コーヒー提供、あそび道具の貸し出し）。本アンケート調査は、この社会実験に関する皆さまの意見を聞き、今後の中央公園（柳川沿い）に役立てたいと思います。

以下の質問について

質問1 性別
① 男性 ② 女性

質問2 年代
① 10歳未満 ② 10代 ③ 20代 ④ 30代 ⑤ 40代 ⑥ 50代以上

質問3 お住まいの地域
① 広島中央地区 ② 下瀬町 ③ 柳川

質問4 本日、中央公園へ来た理由
① 散歩 ② 休憩 ③ トイレ利用 ④ その他

質問5 中央公園（柳川沿い）の印象
① ほぼ毎日 ② 時々

質問6 中央公園（柳川沿い）の印象
① 日常的に設置して欲しい ② あまり使わないので必要ない ③ その他

質問7（質問6で中央公園に飲食スペースを設置してほしい理由）
① カフェ・喫茶 ② パン ③ その他

質問8 中央公園（柳川沿い）の印象
① 日常的に設置して欲しい ② あまり使わないので必要ない ③ その他

質問9（質問8で①～③を回答された方におきます）
中央公園にテーブル・イスが設置されたら、どのような利用をしたいと思いますか？（複数回答可）
① 食事 ② 会話 ③ 読書 ④ 勉強 ⑤ 仕事・作業 ⑥ 休憩 ⑦ その他

質問10 中央公園（柳川沿い）にデッキを設置する試みに対する評価をお教えてください。
① 日常的に設置して欲しい ② 休日に設置して欲しい ③ イベント時のみ設置して欲しい ④ あまり使わないので必要ない ⑤ その他

質問11（質問10で①～③を回答された方におきます）
中央公園にデッキが設置されたら、どのような利用をしたいと思いますか？（複数回答可）
① 食事 ② 会話 ③ 読書 ④ 勉強 ⑤ 仕事・作業 ⑥ 休憩 ⑦ その他

質問12 中央公園（柳川沿い）において、あそび道具を貸し出す試みに対する評価をお教えてください。
① 日常的に設置して欲しい ② 休日に設置して欲しい ③ イベント時のみ設置して欲しい ④ あまり使わないので必要ない ⑤ その他

質問13（質問12で①～③を回答された方におきます）
中央公園にて、あそび道具を貸し出すとしたら、どのような「モノ」がほしいですか？（複数回答可）
① 縄跳び（大輪とびも含む） ② シャボン玉 ③ レジャージェット ④ ボール ⑤ その他

質問14 本日、「デッキ、テーブル、イス、コーヒー提供、遊び道具の貸し出し」を社会実験として設置していますが、これらに対する総合的評価をお教えてください。
① 満足 ② やや満足 ③ どちらでもない ④ やや不満 ⑤ 不満 ⑥ わからない

質問15 本日の社会実験（デッキ、テーブル、イス、コーヒー提供、遊び道具を設置）や、今後の中央公園（柳川沿い）の使い方について、ご意見がありましたら、ご記入ください。

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

■社会実験実施組織
NPO 法人 SYL(広島県民会館1階 1-23)
代表: 下野隆司
○広島大学大学院先進理工系科学研究科
都市・建築計画学研究室(広島県東広島市鏡山 1-4-1)
教授: 田中貴宏

■調査実施
○広島大学大学院先進理工系科学研究科
都市・建築計画学研究室(教授: 田中貴宏)
担当学生: 山本 友樹
住所: 〒739-8527 広島県東広島市鏡山1-4-1
TEL: 082-424-7866
Email: rd22235@hiroshima-u.ac.jp

	10月29日（日）	10月30日（月）
回答数	83	24
有効回答数	75	14
有効回答率	90%	58%

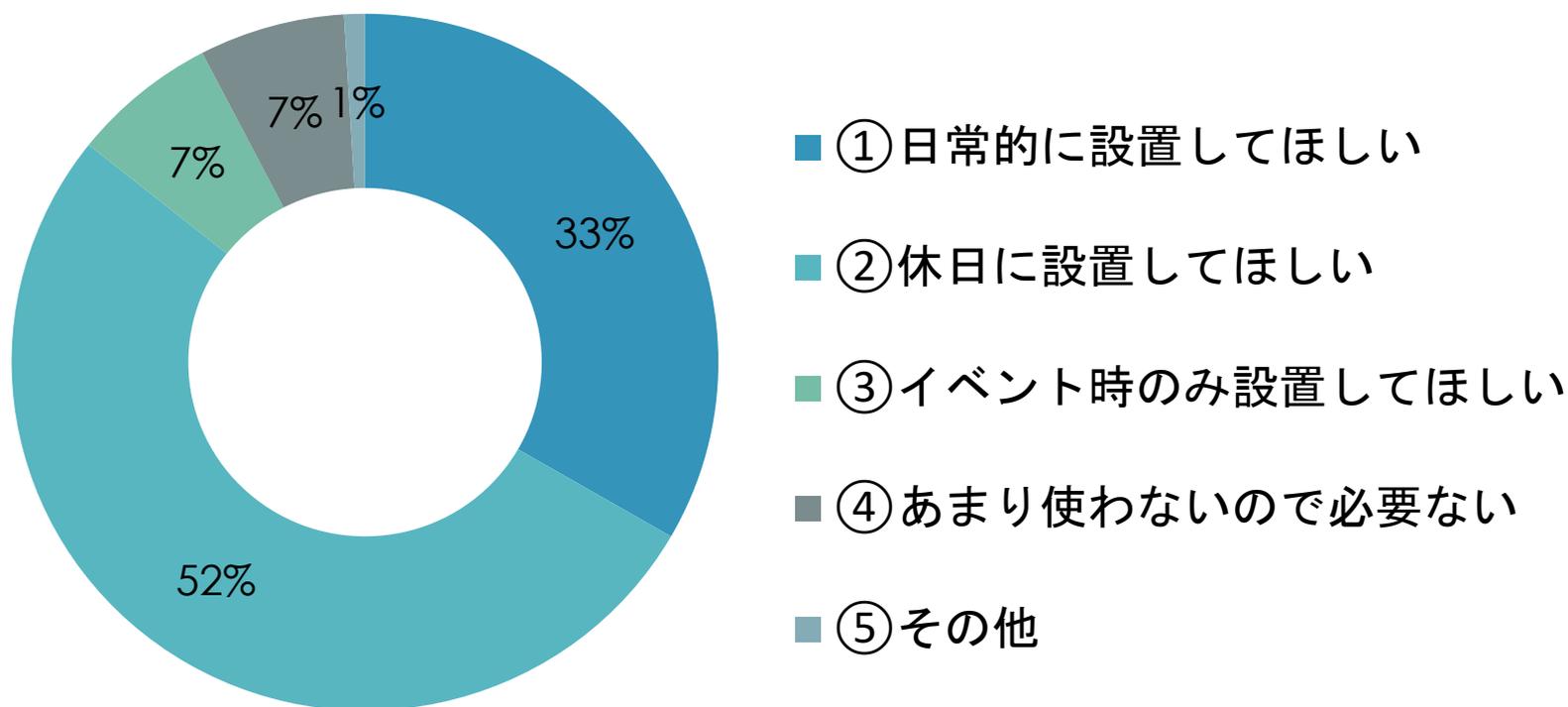
2.3 社会実験に関する評価

■調査内容

- Q1. 性別 Q2. 年代 Q3. 居住地
- Q4. 公園を訪れた目的 Q5. 利用頻度
- Q6. 飲食サービス（コーヒー・弁当）に対する評価
- Q7. 公園にほしい飲食ジャンル
- Q8. テーブル・イス設置に対する評価
- Q9. テーブル・イスにてどのような利用がしたいか
- Q10. デッキ設置に対する評価
- Q11. デッキにてどのような利用がしたいか
- Q12. 遊び道具貸し出しに対する評価
- Q13. 貸し出しをしてほしい遊び道具
- Q14. 社会実験に対する総合評価
- Q15. 自由記述

2.3 社会実験に関する評価

Q6 コーヒー提供・弁当販売に対する評価

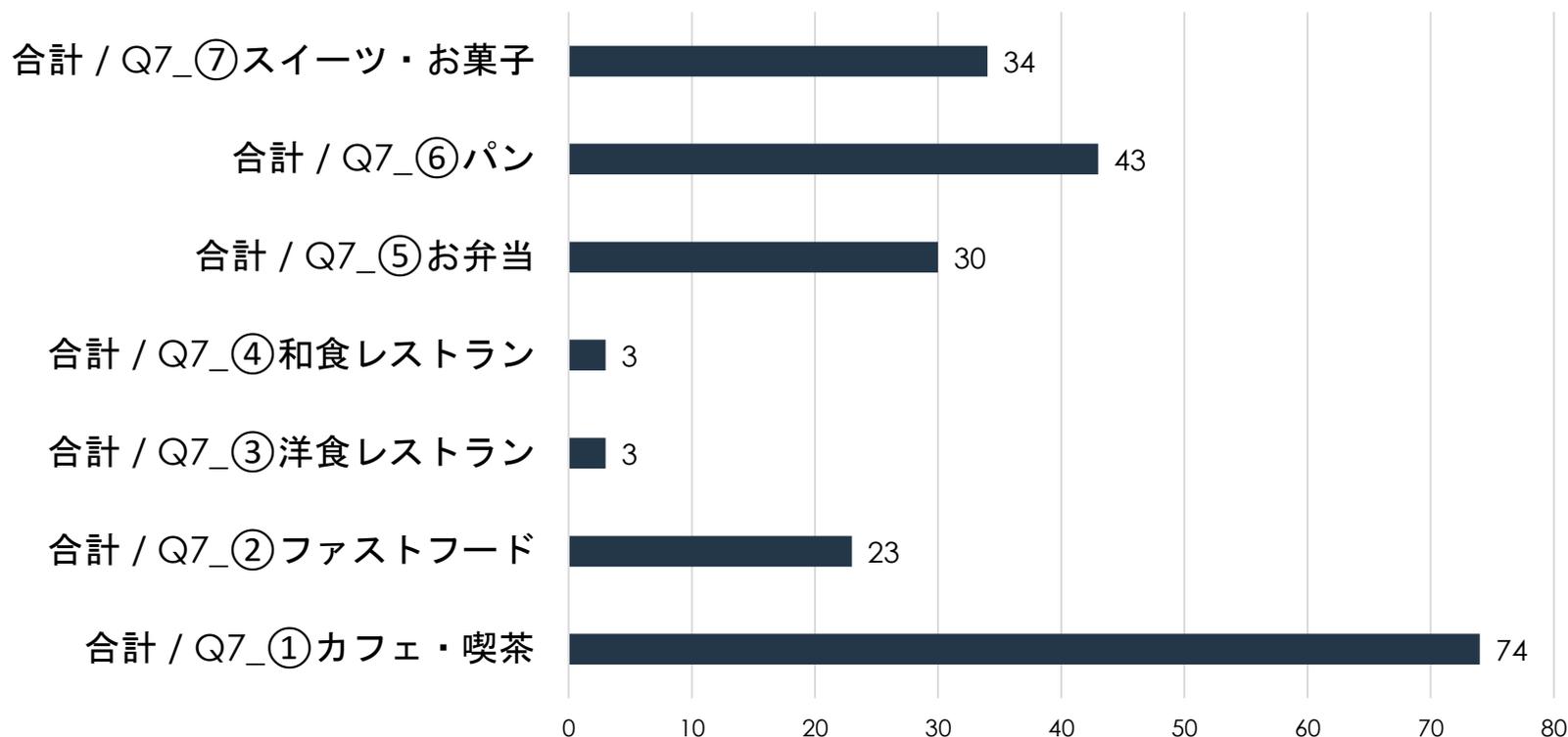


肯定的な意見が9割以上

2.3 社会実験に関する評価

34

Q7. 公園にほしい飲食ジャンル

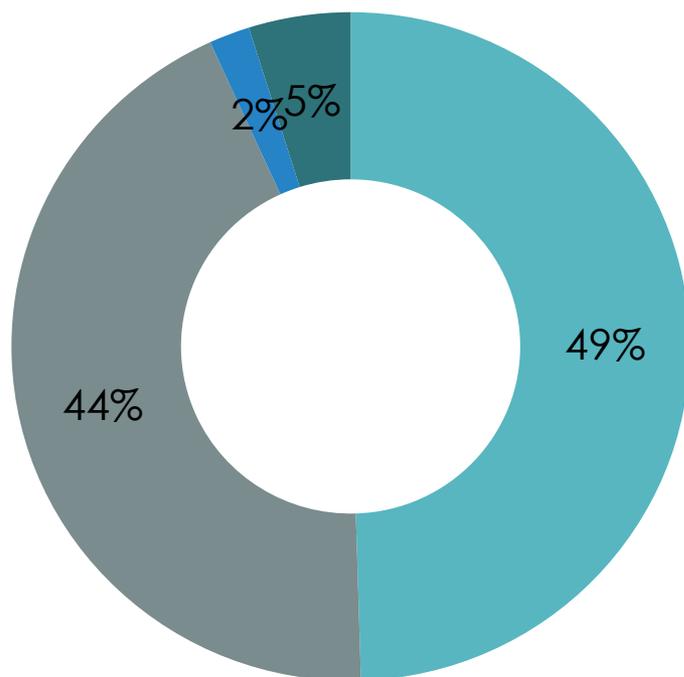


カフェ・喫茶やパン、お菓子といったお手軽なジャンルが人気



2.3 社会実験に関する評価

Q8. テーブル・イス設置に対する評価

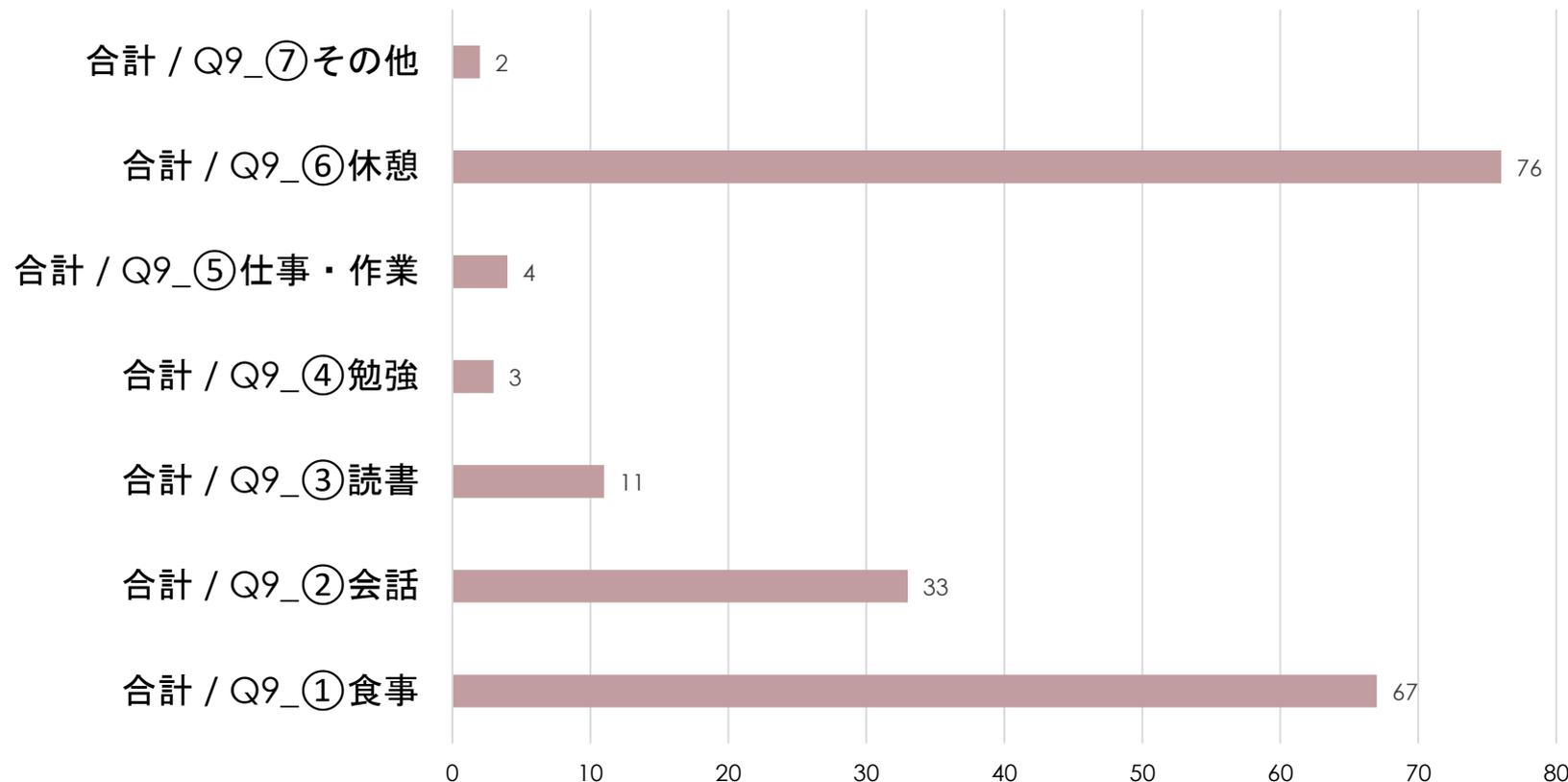


- ① 日常的に設置してほしい
- ② 休日に設置してほしい
- ③ イベント時のみ設置してほしい
- ④ あまり使わないので必要ない

95%が肯定的な意見で、日常的な設置が特に求められる

2.3 社会実験に関する評価

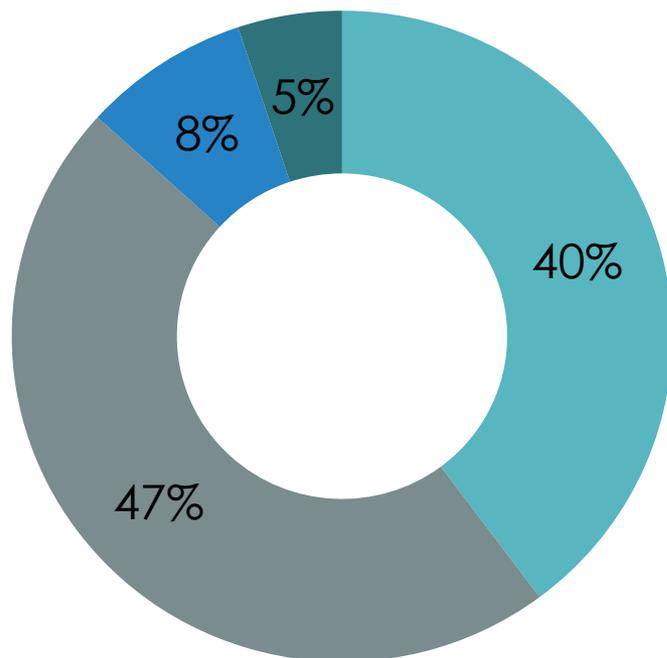
Q9. テーブル・イスにてどのような利用がしたいか



休憩や食事、会話の利用とテーブルイスの相性が良い

2.3 社会実験に関する評価

Q10. デッキ設置に対する評価

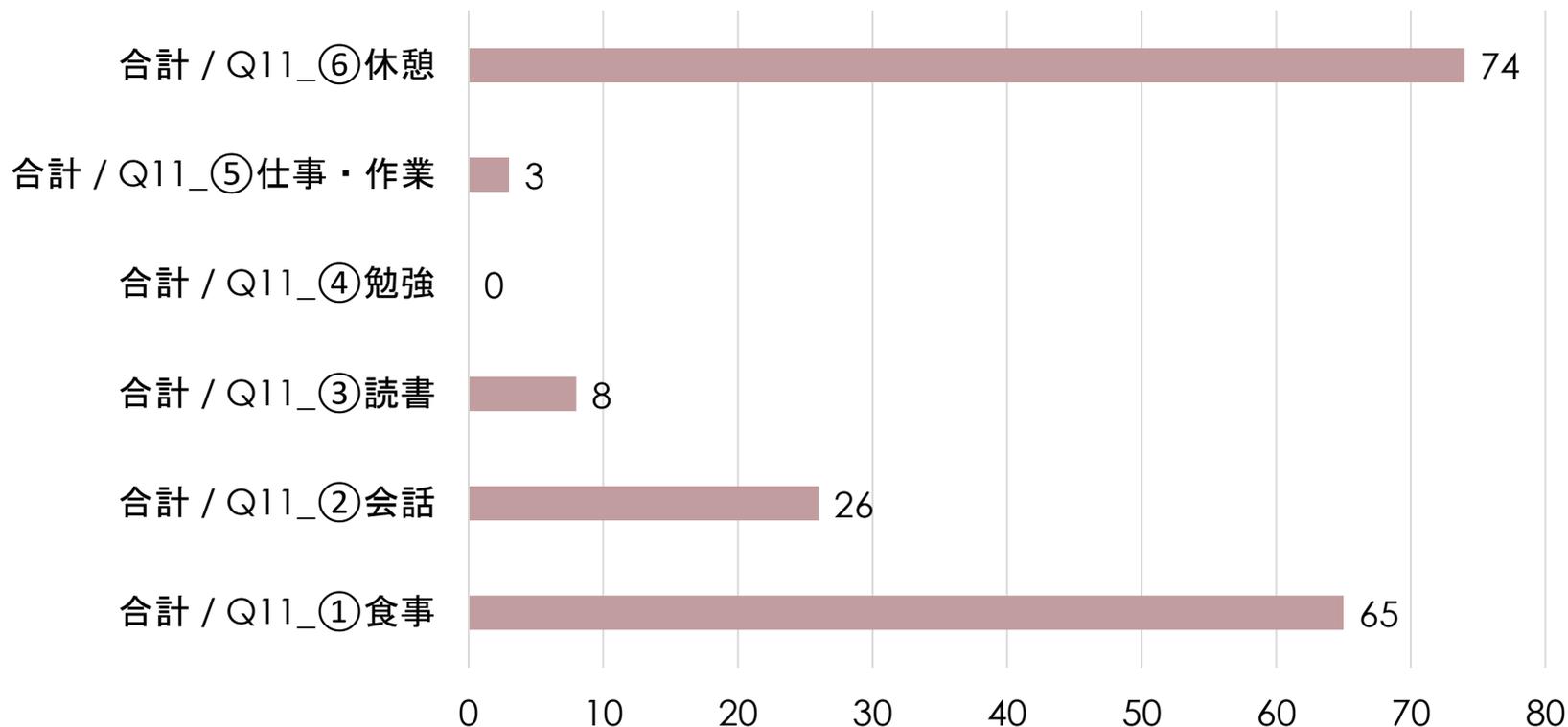


- ① 日常的に設置してほしい
- ② 休日に設置してほしい
- ③ イベント時のみ設置してほしい
- ④ あまり使わないので必要ない

95%以上が肯定的な意見

2.3 社会実験に関する評価

Q11. デッキにてどのような利用がしたいか



「勉強」はないものの、おおよその傾向はテーブルイスと同様

2.3 社会実験に関する評価

39

Q15. 自由記述（抜粋）【社会実験に対する意見】

子供も遊具で遊び、親も座ってゆっくり休めてよかったです

いつもより人が多く賑わっているので良い試みだと思います。

よく子供が集まる場所なので、ぜひイスやデッキを設置してください。食事もできるようにしてください。

テーブルイスがあると、食事のときはもちろん休憩時ケガした時とも助かります。中央公園は、中央地区では広い公園なので、のびのび遊ぶ区画があると大きい子も今まで通り遊びに来ると思います。小さい子から大きい子まで一緒に遊べる場所になるとうれしいです。



2.3 社会実験に関する評価

Q15. 自由記述（抜粋）【整備に向けた要望など】

日よけ場所があるといい

小・中学生の大きめの子供と幼児の子供が危なくないように遊ばせれる方法や環境を考えて欲しい

周辺環境を巻き込んだ公園の運営協議会の設置、休日を中心にチャレンジショップの運営

けん玉や竹馬など昔ながらの遊びをしても面白いと思います。地域の高齢者のボランティアの人たちに教えてもらったりなど

ベンチが木が古く、ハトがフンをして汚いので、本日設置されている椅子やテーブルを設置してほしいです。

1. 昨年度の活動

2. 社会実験

2.1 社会実験内容

2.2 当日の風景

2.3 社会実験に対する評価

3. 高校生ワークショップ

3.1 WSの概要

3.2 WSより抽出できた意見・アイデア

3.3 高校生の感想

4. まとめと今後の展望

3.1 WSの概要

42

■高校生ワークショップの目的

地元の高校生の公園に対する意見を調査すること



- ・ 昨年度の調査にて若い人の意見を抽出できていない
- ・ 「呉百人会議」にて高校生の放課後の居場所が少ないといった意見



3.1 WSの概要

43



■実施日時：2023年11月22日（水） 14：20～16：10

■場所：くれ協働センター（呉市役所）

■対象：広島県立呉宮原高校 2年生 計28人
※宮原高校の探求学習の時間をお借りして実施

■ワークショップの流れ

ワーク①： **どのような活動（コト）** を行うことができるか中央公園に行こうと思うか？

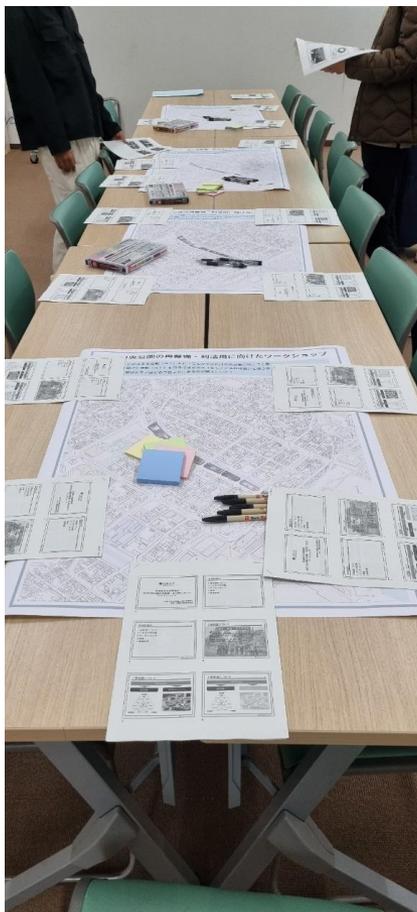
ワーク②： 挙げた活動（コト）を行うには **どのようなモノ** があれば良いと思うか？

ワーク③： 挙げたモノは **どのブロック** にあるのが望ましいか？



各チーム1分から2分程度で発表

3.1 WSの概要



3.1 WSの概要



3.2 WSより抽出できた意見・アイデア 48

■公園全体に対する意見

- SNS用の写真や動画を撮りたい
- デートスポットが欲しい
- 友達と会話や勉強ができる場所が欲しい
- スポーツやスケボーができる場所が欲しい

- フリーWiFiや携帯の充電スポット
- 街灯やイルミネーション
- 屋根付きの机と椅子



3.2 WSより抽出できた意見・アイデア 49

■各ブロックに対する意見

Eブロック



特徴

- 中央にあるステージ
(年季が入っており、日常利用はされていない)

- 星空映画館
- 週末にイベント開催

3.3 高校生の感想

こんな些細なことも書いていいんだと思いました。
自由に自分の考えを書くことができて楽しかったです。

各班の発表を聞いて、同級生がどんなことを
考えているかを知ることができて面白かったです。

中央公園をただの通り道にしないように
私たちもできることを考えたいと思いました。

大学生と一緒に活動できたことが刺激的で、
自分たちの探求学習を進める上でも参考になりました。

進路の選択肢や自分の視野を広げるいい機会になりました。



1. 昨年度の活動

2. 社会実験

2.1 社会実験内容

2.2 当日の風景

2.3 社会実験に対する評価

3. 高校生ワークショップ

3.1 WSの概要

3.2 WSより抽出できた意見・アイデア

3.3 高校生の感想

4. まとめと今後の展望

4 まとめと今後の展望

考察①

モノの存在が公園の利活用促進に繋がる

今年度の活動①：Aブロックを対象とした社会実験の実施

- ・必ずしも大きな整備を行わずとも、公園の満足度向上は可能
- ・各ブロックの特性に合わせた環境整備が有効
(Aブロックは親子利用が多いため、子どもには遊び道具の貸し出し、親には軽い飲食サービスが好ましい等)

といった公園の利活用や整備に向けた知見が得られた

今後の展望

- ・小さな工夫で済む部分と大規模な整備な部分を見定めること
- ・日常利用に向けたより長期的な社会実験・その効果検証



4 まとめと今後の展望

53

考察②

中高生の公園利用に関して特に課題がある

今年度の活動②：高校生を対象としたワークショップの実施

- ・ 高校生の放課後の居場所が少ないこと
- ・ 高校生にとって今の中央公園は魅力的には映っていないこと
- ・ WSを通して高校生ならではの意見が得られること（e.g. 星空映画館、勉強ができる場所、スポーツができる場所）

といったことが明らかになった

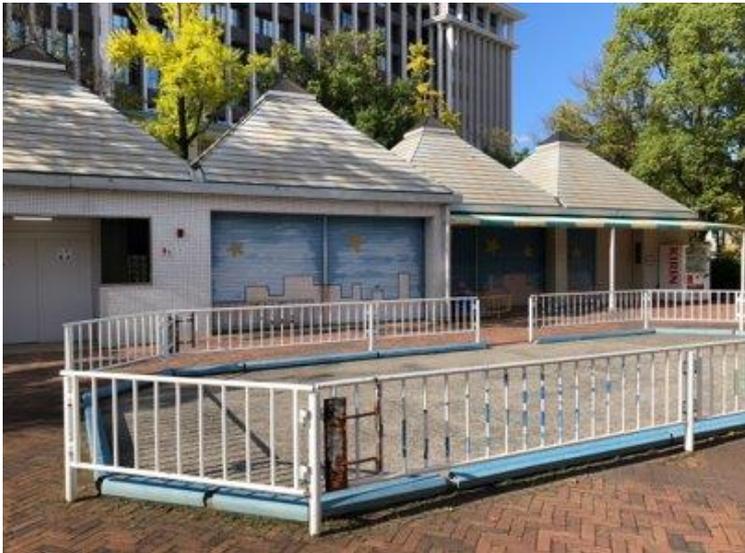
今後の展望

- ・ 高校生など若者にとって魅力的な公園に向けた整備検討
- ・ 各年代に対する詳細なニーズ調査とその検証



「Our Park (社会実験)」

54



中国新聞より

「Our Park（社会実験）」



「呉まちなか公共空間デザイン計画」

56

資料3



呉まちなか公共空間デザイン会議（第2回）資料

呉まちなか公共空間デザイン計画（方向性の検討）意見交換資料

<資料の構成>

- 1 第1回会議の振り返り（P2～）
 - 1-1 取組の背景
 - 1-2 呉まちなか公共空間デザイン計画の作成
 - 1-3 呉まちなか公共空間デザイン計画の構成案
- 2 管理・運営及び整備に関する方針（P4～）
 - 2-1 第1回会議の意見の集約
 - 2-2 アクティビティとコンテンツ
 - 2-3 空間の再構築
 - 2-4 デザイン・設え
 - 2-5 空間のマネジメント
 - 2-6 基本方針
- 3 未来ビジョン（P26～）

1

呉市都市計画課

